

令和3年度事業報告

公益財団法人国際協和奨学会が令和3年度(令和3年4月1日～令和4年3月31日)において実施いたしました事業につきまして、下記の通りご報告申し上げます。

1 公益目的事業

(1) 私費外国人留学生及び日本人海外留学生(以下、「留学生」と略します)に対する奨学金の支給

令和3年度(以下、「昨年度」と略します)において奨学金を支給した留学生は、9名に対して総額12,960,000円を支給しました。(詳細 別紙1)

(2) 学業報告について

昨年度において奨学金を支給した留学生から提出のあった学業の実績報告は別紙2の通りです。

(3) 令和4年度奨学生(第37回生)の採用について

令和4年度(以下、「本年度」と略します)より新たに奨学金を支給する留学生は、選考委員会において公正かつ厳正な審議及び第36回理事会の承認を経て、第37回生として外国人留学生6名及び日本人海外留学生1名が採用されました。

なお、本年度において奨学金を支給する留学生は第35回生(令和2年度採用)及び第36回生(令和3年度採用)と合わせて12名であります。(詳細 別紙3)

(4) 留学生に対する生活指導及び助言等

① 奨学金を支給する留学生に対しては、従来通り、毎月の奨学金支給日における面談等を通して、適宜、指導及び助言等を行いました。ただし、コロナ過の影響で、5月分については、やむを得ず銀行振込とした。

② 研修会・オリエンテーション実施

昨年度は、新型コロナ過の影響で、緊急事態宣言もあり、留学生を集めての催しを自粛したため、3年4月1日の贈呈式、7月27日の外国人のための歌舞伎鑑賞(国立劇場、食事なし)、令和4年2月22日の学業報告会を実施した。学業報告会は、会場を星稜会館として、室内の換気を十分にしようえで3密を避け、プロジェクターを使用し奨学生から詳細な報告がなされた。学業報告の後は、35回生の送別会を飲食なしで行い、短い時間ではあったが奨学生間の懇親を深める機会も設けた。

(5) 資産の運用

基本財産(319百万円)の運用によって本年度は8,327,511円の運用実績がありました。

以上